## 平成 19 年度 **事務事業マネジメントシート** 作成日 平成 19 年 8 月 1 日作成 点検日 平成 19 年 8 月 22 日作成

						•	-		ポペト	十八八	19 +	0	
事務事業名 公用車管理の適正化推進事業						□ マニフェスト関連 □ 全庁横断課題関連							
	j	政策名	総 合 0	総 			づくり 所	所属部 総務企画部			所属課	企画見	<b>財政課</b>
	7	施策名	計 画 11.6 1 11.6 1				所属係 財政班			課長名	齋藤	正昭	
	基本事業名 系 5 8 公有財産の管理運営			担	担当者名 米澤伸仁			-	096-2 1233	248-1111			
予算科目     会計     款     項     目     事業       0     1     0     2     0     1     0     7						法	法令根拠 合志市集中改革プラン						
	事	業期間		.年度の <i>。</i>		単年度繰返 ┗・( 開始年	<b>度</b> H.18 <b>年</b>		明間限定複数 ┗>(	年度→全 年度			を記入 度 )
			(具体に	的なやり	り方、手順、詳級	田。期間限定複	数年度事業は	全体像を記			間限定複数年	度のみ)	/ <u>/</u> (単位;千円)
(業)	見有務別し軍算	の内容) 公用車の利用 の内容) 引車利用状況・ ス車への切替 云業務を委託〕 の内訳)	等の分 え	析	、効率的利用と必	要最小限台数位	の確保を行う。		;	量 人 件 費	地方信	t 出金 責 也 (A) (A) 等人数 等間 (B)	0 0
		状把握の部 務事業の目		≨捶									
18・公房 19・平 ②集各株コ ③ 必 公 ・ ④	手年用車 年成 対中課定プ 意要用 結	段(主な活動 ・主な活動 ・主な活動 ・主に、 できました。 ・主に、 できます。 ・まに、 できまます。 ・まに、 できまますまままままままままままままままままままままままままままままままままま	加) <b>1度に</b> <b>1度に</b> <b>1度に</b> <b>1月</b> <b>1月</b> <b>1月</b> <b>1月</b> <b>1月</b> <b>1月</b> <b>1月</b> <b>1月</b> <b>1月</b> <b>1月</b> <b>1月</b> <b>1月</b> <b>1月</b> <b>1月</b> <b>1月</b> <b>1月</b> <b>1月</b> <b>1月</b> <b>1月</b> <b>1月</b> <b>1月</b> <b>1月</b> <b>1月</b> <b>1月</b> <b>1月</b> <b>1月</b> <b>1月</b> <b>1月</b> <b>1月</b> <b>1月</b> <b>1月</b> <b>1月</b> <b>1月</b> <b>1月</b> <b>1月</b> <b>1月</b> <b>1月</b> <b>1月</b> <b>1月</b> <b>1月</b> <b>1月</b> <b>1月</b> <b>1月</b> <b>1月</b> <b>1月</b> <b>1月</b> <b>1月</b> <b>1月</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b> <b>1</b>	行った主 R。 各課配 計画してい ルバス・ク つ つ こ に が が が に が に が が に に が に に が に に が に に に に に に に に が に に に に に に に に に に に に に	車の変更。 こいる主な活動) 折。 いるのか)*人や ダンプ・市長車・移 象をどう変える。	自然資源等 動図書館車・シ のか)		ア イ ウ ⑥ アイウ⑦ アイウ® 本	まに要した時 は精標の は精標では は は は は は は は は は は は は は は は は は は	名 間 大名文文 は名用ji 果名称 を称 を称 意称 事 の は の の が で	指標)数字は記 の達成度を表す 特定公用車を をを表す指標)	記入しな 指標()数 学に記	単位 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
(2)	総	事業費∙指	票等の		16年度	17年度	18年度	19年度	20:	年度	21年月	变	22 年度
			ılı A	単位	(実績)	(実績)	(実績)	(見込)		標)	(目標		(最終目標)
	事	財 国庫支 <sup>都道府県</sup>	支出金	千円 千円									
	事業	源 地方		千円									
	費	訳その一般則		千円 千円									
入量		事業費計	(A)	千円	0	0	0		0	0		0	0
	人件	正規職員従 延べ業務		人 時間			1 50		1 50	1 50		1 50	1 50
	費	人件費計		千円	0	0	199		199	199		199	199
	ŀ	ータルコスト(A		千円 時間	0	0	199 50		199 50	199 50		199 50	199 50
		活動指標	ア イ ウ	时间			50		50	50		50	
			ア	台			16		15	15	<u> </u>	12	10
対象指標		イウ	台台			47		51	51		51	51	
-			<u>ウ</u> ア	台台			0.185	0.	10 .196	0.198		10 0.191	0.188
		成果指標	<u>イ</u> ウ	台 %			未測定						
-			<u>ウ</u> ア	%			未測定						
	上	位成果指標											
								•					

合志市

## (3) 事務事業の環境変化・住民意見等 ① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?

合志市集中改革プラン(平成18年12月策定)による。また、合併により総台数が増加してきたため、適正な配置や効率的な運行がより一層求められ ている。

- ② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?
- ・福祉部門の訪問事業に使用する公用車が増加してきた。
- ・リースによる保有が増加してきた
- ・地球温暖化防止策から低燃費車や低公害車の導入の検討が必要となった。

## ③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?

・市長車の廃止に関する意見がある。

価

・各課からは、業務遂行上、各課配置の専用車を増やしてほしいという要望を聞いている。また、老朽化している車両については燃費や安全面から買

い	替えが望まれている。	
2		平価、ただし複数年度事業は途中評価
	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体 系に結びつくか?意図することが結 果に結びついているか?	<ul> <li>見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映</li> <li>結びついている ⇒【理由】 ⇒</li> <li>「必要最小限台数を確保する」「公用車経費の削減を図る」ことは、「目的に沿って適正に管理され、有効は活用されている」ことに結びつく。</li> </ul>
目的妥当性評!	② 公共関与の安ヨ性 なぜこの事業を市が行わなければ ならないのか? 税金を投入して、達 成する目的か?	<ul> <li>見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映</li> <li>✓ 妥当である ⇒【理由】 ⇒</li> <li>公用車は、職員が公務に従事するときに使用するものであり妥当である。</li> </ul>
価	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか?意図を 限定・拡充すべきか?	<ul> <li>見直し余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映</li> <li>対象・意図とも現状で適切である。</li> </ul>
	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準と の差異はないか?何が原因で成果 向上が期待できないのか?	<ul> <li>✓ 向上余地がある ⇒【理由】 ⇒3 改革・改善方向の部(3枚目シート)に反映</li></ul>
有效性評価	事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<ul> <li>影響無 ⇒【理由】 →3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映</li> <li>✓ 影響有 ⇒【その内容】 →</li> <li>必要数以上に公用車を保有することは、無駄な経費 (事業費・人件費)が必要となる。</li> </ul>
	⑥ 類似事業との統廃合・連携 の可能性 目的を達成するには、この事務事業 以外他に方法はないか?類似事業 との統廃合ができるか?類似事業と の連携を図ることにより、成果の向 上が期待できるか?	<ul><li></li></ul>
效	1	<ul> <li>□ 削減余地がある ⇒【理由】 → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映</li> <li>☑ 削減余地がない ⇒【理由】 → 事業費は発生しない。</li> </ul>
<b>率性評価</b>	(回) 大件負(連へ乗務時間) の削   減余地	☑ 削減余地がない ⇒【理由】 つ
公平性評	111.赤地	□ 見直し余地がある ⇒【理由】 → 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映  ☑ 公平・公正である ⇒【理由】 → 公用車は、職員が公務に従事するときに使用するものであり公平である。

事務事業名	公用車管理の適正化排	<b></b> 進事業	所属部	総務企画部	所属語	企画財政課
	と今後の方向性(次年度	計画と予算への反映				
(1) 1次評価者として(	の評価結果		(2	) <b>全体総括(振り</b> ・成果の向上余		)
① 目的妥当性	☑ 適切	□ 見直し余地あり	)			
② 有効性	□ 適切	☑ 見直し余地あり	∕ <b>↓</b>			
③ 効率性	☑ 適切	□ 見直し余地あり	) [			
④ 公平性	☑ 適切	□ 見直し余地あり	)			
□ 廃止 □ 休止 □ 事業のやり方改善(□ 現状維持(従来通り・本庁方式により集中・二輪車(バイク・自車・バス、スクールバス、(5) 改革, 改善を実現・本庁方式にするだ・二輪車は文書決ま		事業統廃合・連携 (のやり方改善(公平性 くす。 外部委託や廃止する (壁)とその解決策 が必要である。 で従事する場合にに	<b>改善</b> ) 。	<b>ごある</b> 。		(4) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 向上 成維 果 低 下 × ×
   4 事務事業の2次詞	T / T / + T					
□ 記述不足で □ 一部記述不 □ 記述は十分 ②評価の客観性 □ 客観性を欠 □ 一部に客観 □ 客観的な評	評価の記述内容を読んだわかりにくい をのところがある なされている 水準(2次評価を行っただいており評価が偏ってしました。) はを欠いたところがある	後に総合的に判断し いる(事務事業の問題 5	夏点、課題 「認識され	ıている)		
(2) 2次評価者として	の評価結果		(;	3) 評価結果の相	見拠と理由	
① 目的妥当性	□ 適切	□ 見直し余地あり	J			
② 有効性	□ 適切	□ 見直し余地あり	, 🗼			
③ 効率性	□ 適切	□ 見直し余地あり	, [			
④ 公平性	□ 適切	□ 見直し余地あり	)			
<ul><li>廃止</li><li>□ 休止</li><li>□ 事業のやり方改善(</li><li>□ 現状維持(従来通り</li></ul>	効率性改善)	■ 事業統廃合·連携		——— のやり方改善(有3	如性改善)	(5) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要) コスト 削減 維持 増加 上 成維 果 低 下 × ×
(6) その他2次評価会	議で指摘された事項					